

auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100

追加型投信／海外／株式／
特殊型（その他）

（愛称：Qレバナス）

NASDAQ
100
CONTROL
BULL
×1-3

※ファンド名称のauAMはauアセットマネジメントの略称です。

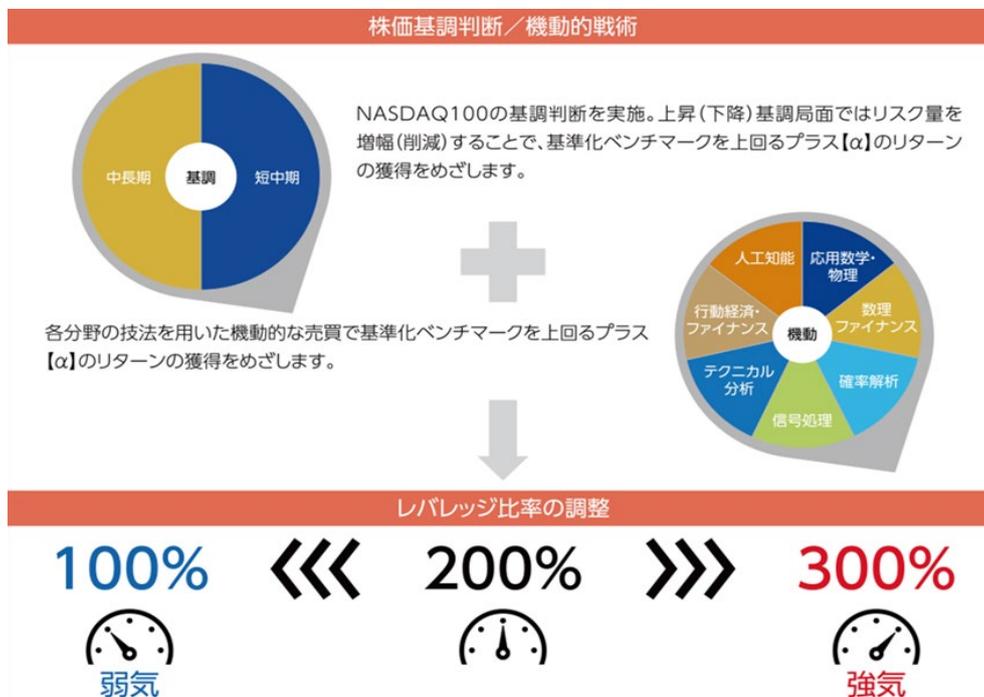
「第八期パフォーマンスについて」

作成日：2026年3月27日

- 当資料の内容は過去データを基にした結果を示すものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。
- お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

改めてQレバナスの運用の仕組みについて解説します

運用戦略（レバレッジコントロール）について



※実際のレバレッジ比率は、買建玉の時価総額の変動等により変動します。目標レバレッジ比率には一定の変動許容幅を設けます。

Qレバナスでは、NASDAQ100 先物買建 200%のベース部分にクオンツによるアクティブ運用を加えて先物の組入ウェイトをコントロールしています。

この“アクティブ運用部分”ではNASDAQ100先物の組入ウェイトを-100%~100%でコントロールします。これはそれぞれアプローチの異なる【株価基調判断】と【機動的戦術】により決定されます。

このアクティブ運用部分（-100%~100%）と先物買建 200%のベース部分とあわせてレバレッジ比率 100%~300%で調整します。

基準価額の推移について

（前期決算日比 404 円のマイナス）

図表1の網掛け部分は、当ファンド第八期決算期間（2025/11/25~2026/2/24）の基準価額の推移を示したものです。決算日（2026/2/24）基準価額は、12,771円、前回決算日比▲404円（第七期決算日 2025/11/25 基準価額 13,175円）となりました。

【図表1 基準価額推移（設定来（2024年3月22日）～（2026年2月24日）】
（円）

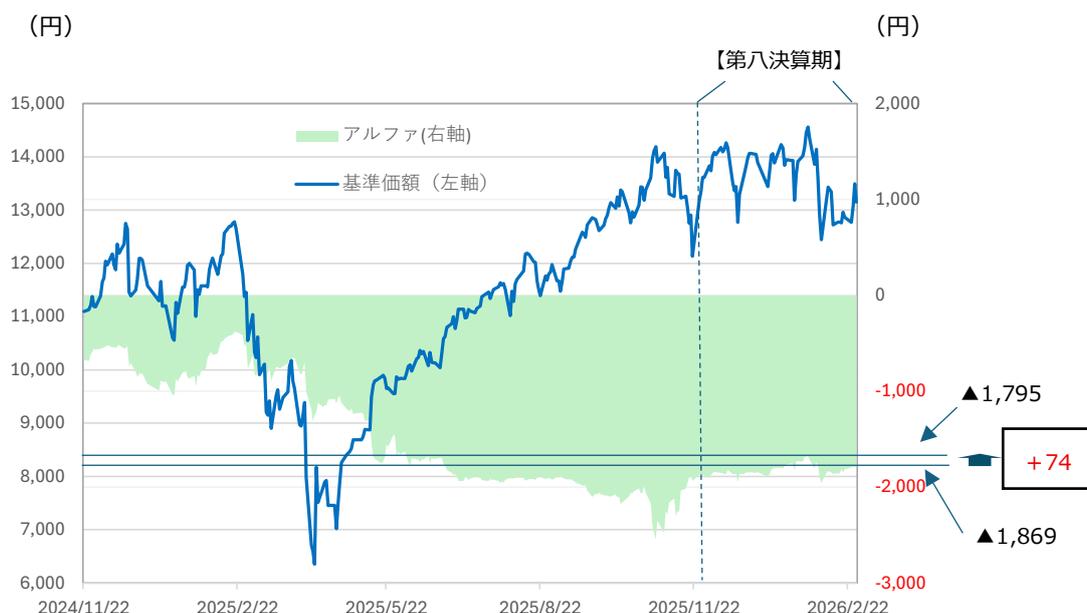


「アルファ」の推移について（第八期アルファは74円の改善）

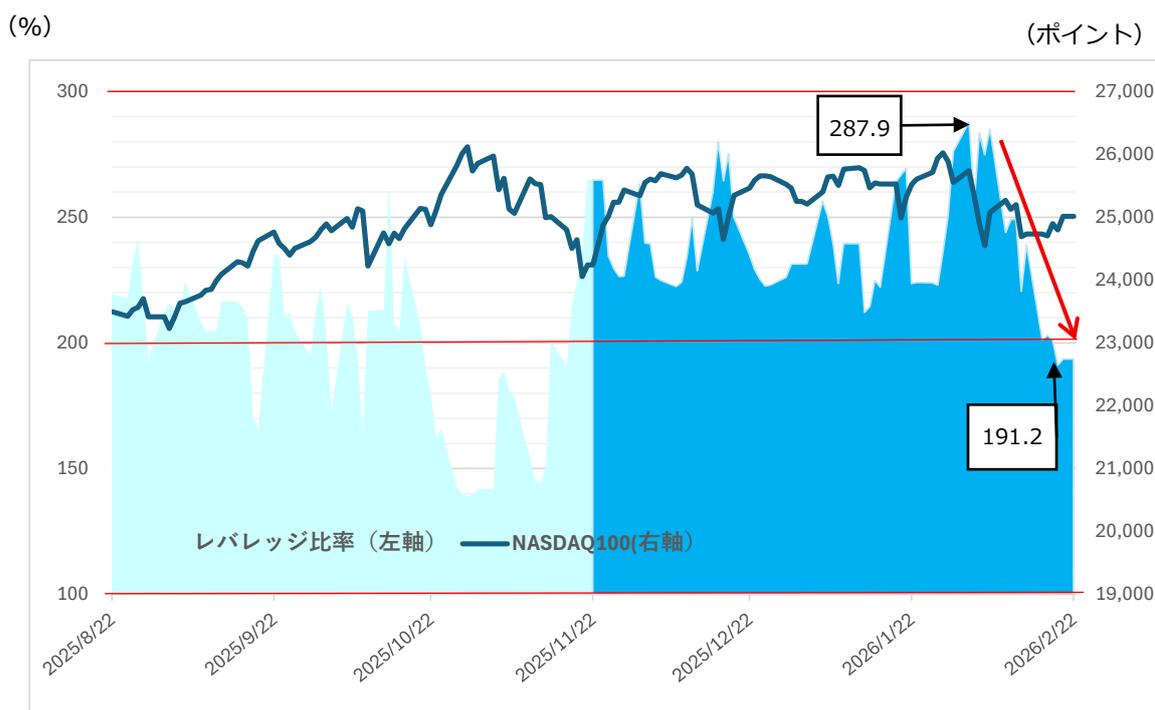
基準化ベンチマーク NASDAQ100 指数の2倍（円ヘッジベース）との比較

図表2は、当ファンドの第八期決算日（2026/2/24）までの基準価額と基準化ベンチマーク（NASDAQ100 指数の2倍（円ヘッジベース））との差「アルファ」（以降アルファと記載）の推移を示したものです。アルファは、前回決算時の▲1,869から▲1,795円となり、74円の改善、成功報酬は発生しませんでした。この間のレバレッジ比率の動きを図表3に表しております。

【図表2 第八期 基準価額と基準化ベンチマークとの差（アルファ）の推移】



【図表3 レバレッジ比率の推移】



◆資料末尾の『当資料のお取扱いにおけるご注意』を必ずご覧ください。

第八期のレバレッジ比率とマーケットイベントの振り返り

2025年11月後半以降、NASDAQ100先物は25,200~25,500pt付近で下げ止まる動きが見られ、その後はAI関連株への買いが続いたことや25,000pt超の安定推移を背景に、堅調な推移となりました。

当ファンドでは、この下げ止まりを確認した局面でレバレッジ比率を段階的に引き上げる対応を行い、12月以降の上昇局面を着実に捉えつつ、2026年初の高値圏ではモデルに基づいた運用を継続した結果、アルファの改善に寄与しました。

今後も市場環境の変化に応じてモデルに基づいた機動的なレバレッジ調整を行い、投資家の皆さまの資産形成に貢献してまいります。

主なマーケットイベントとレバレッジ比率について説明します。

【マーケットイベント】

① 11月下旬：AI関連株の上昇と利下げ期待を受け株価上昇

Google（アルファベット）社が新AIモデル「Gemini 3」を発表し、AI半導体関連銘柄が大幅に上昇しました。

さらに、サンフランシスコ連銀総裁の発言を受けて12月の利下げ期待が高まり、金利に敏感なハイテク株にも追い風となりました。

【レバレッジ比率】第七期決算に引き続き概ね200%超の水準を維持し、パフォーマンス確保に寄与しました。

② 2月上旬：AIへの不安とAnthropic社の台頭でテック株が弱含み

AIディスラプションへの懸念がテック系大型株の株価上昇を抑制する中、Anthropic社の法人向けAI「Claude」が既存ソフトウェアの代替になり得るとの見方が強まり、テック株にも評価見直しの動きが波及しNasdaq100指数は約1,200ptの大幅下落となりました。

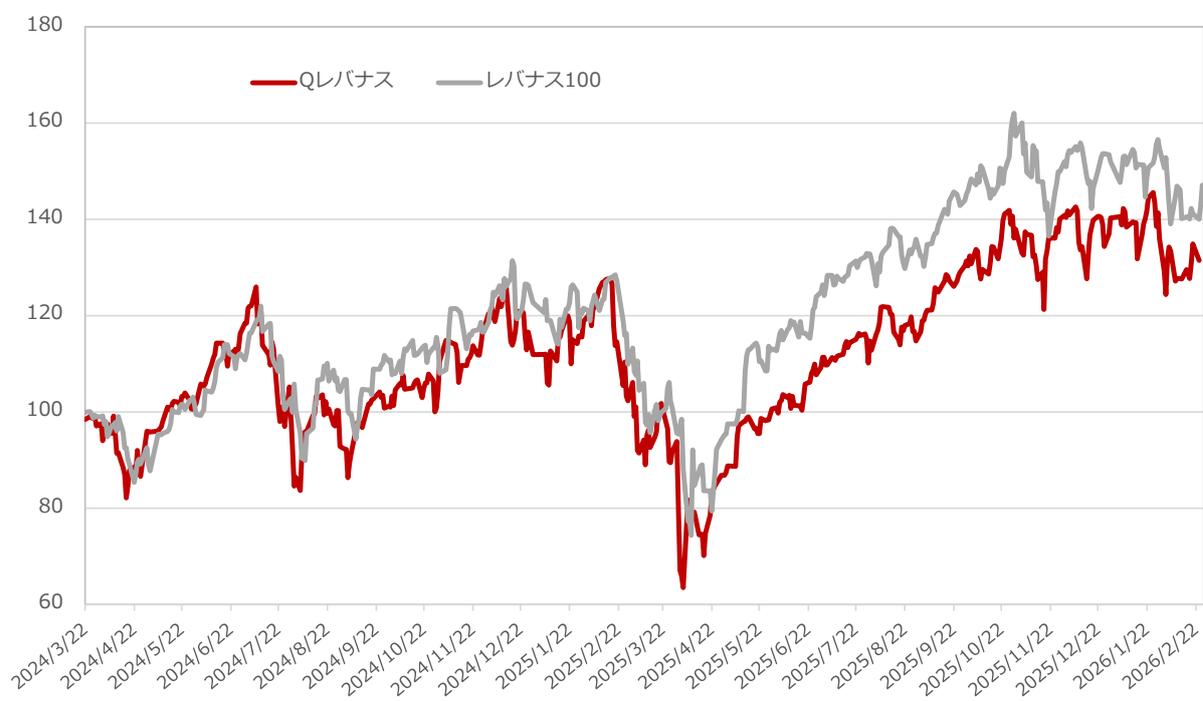
【レバレッジ比率】当ファンドは2月上旬に株価が下落する中、レバレッジ比率を287.9から191.2へと圧縮しました。

当ファンド設定来の当社レバナス 100 との比較

当ファンドでは、種々の投資戦略を活用しながら、NASDAQ100 株価指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度となることを目指したファンド（図表4の当社レバナス100）より高いパフォーマンスをお客様にお返しできるよう、日々努めて参ります。（基準化ベンチマークとの比較とは異なりますが、投資家の皆様が普段見ていらっしゃる当ファンド（図表4のQレバナス）と当社 auAM レバレッジ NASDAQ100（図表4のレバナス100）との比較グラフを下記にお示しします。成功報酬計算とは異なるものである点ご注意ください。）

【図表4 Qレバナス設定来の当社レバナス100 との比較グラフ】

※2024/3/22 時点を 100 として指数化



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、au アセットマネジメント株式会社がファンドに関連する情報等をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。ファンドの取得の申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の[投資信託説明書（交付目論見書）](#)の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。
- Qレバナスの詳細情報（リスク・費用等を含む）につきましては、[こちらのファンド詳細ページ](#)をご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料の記載内容は過去のデータによるシミュレーションであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、基準日時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料の写真やイラストはイメージとして掲載するものです。
- ファンド名称の auAM は au アセットマネジメントの略称です。